

第 4 章 総括

第4章 総括

本調査研究は、令和3年度から令和4年度にわたり、2年間で実施した。

令和3年度の本調査研究については、研究会を3回開催し、リカレント教育に係るオンラインにより無料で学べる職業動画教材等の開発及び職業動画教材の配信方法について検討を行った。具体的には、インターネットでの職業動画教材の配信、既存動画教材等を活用した職業動画教材の開発、第4次産業革命の技術及び生産性向上支援訓練コースの企画立案から具体的なコンテンツを決定した。

令和4年度の本調査研究については、研究会を2回開催し、決定したコンテンツに係る職業教育用動画教材の制作、配信チャンネル開設に係る広報ツール等の策定及び職業教育用動画教材コンテンツの充実に向けた検討を行った。具体的には、職業動画教材の制作と配信チャンネル「ものトレTV」開設と広告を踏まえたKPIの設定及び配信チャンネルの運用を行った。

【令和3年度の成果一覧】

企画立案した職業教育動画

(1) カテゴリーⅠ：第4次産業革命の技術革新に対応したものづくり職業動画教材

- ・中小製造業における第4次産業革命に係る技術導入の必要性(導入事例版)
- ・センシングによる予防保全(導入事例版)
- ・画像処理による均質化(導入事例版)
- ・センシングによる生産性の効率化(導入事例版)
- ・工場間ネットワーク環境の整備(デジタル化に向けたインフラ整備)(導入事例版)
- ・(協働)ロボット導入(実務スキル版)

(2) カテゴリーⅡ：生産性向上支援訓練に関する職業動画教材

- ・ものづくりの仕事のしくみと生産性向上
- ・生産現場の問題解決
- ・現場社員のための組織行動力向上
- ・成果を上げる業務改善

(3) カテゴリーⅢ：eラーニング教材等を活用した職業動画教材

- ・ものトレTV 三角関数から学ぶ超音波探傷の基礎講座
- ・ものトレTV ノギスを使いこなす！
説明：ノギスって何から使いこなすまでこの動画で学習できます。
- ・ものトレTV マイクロメータを使いこなす！～外側編～

説明：マイクロメータの外側測定って何？、から使いこなすまでこの動画で学習できます。

- ・ものトレTV マイクロメータを使いこなす！～内側編～

説明：マイクロメータの内側測定って何？、から使いこなすまでこの動画で学習できます。

- ・ものトレTV マイクロメータを使いこなす！～デプス（深さ）編～
- ・ものトレTV ダイヤルゲージを使いこなす！
- ・ものトレTV シリンダゲージを使いこなす！
- ・ものトレTV 旋盤技術のスキルアップ講座！

【令和4年度の成果一覧】

制作した職業教育動画教材及びKPIの設定と結果

（1）第4次産業革命の技術革新に対応したものづくりの職業動画教材

第4次産業革命の技術革新に対応したものづくりの職業動画教材は、導入事例版5章、実務スキル版5章の計10章で構成されている。

導入事例版は、①DXの加速化とデジタル技術の必要性、②センシングによる予知保全、③画像処理による品質検査の均質化、④センシングによる生産工程の効率化、⑤工場間ネットワーク環境の整備（デジタル化に向けたインフラ整備）以上の5章で構成されている。

実務スキル版は、⑥問題の分析、発見、抽出、⑦工程の改善・じならし、⑧工程の設計、⑨安全、⑩必要となる項目（導入の際に必要なもの、具体的な導入段階）以上の5章で構成されている。このように、第4次産業革命の技術革新に対応したものづくりの職業動画教材は、導入事例版と実務スキル版の構成で合計10本の職業動画教材を制作した。

（2）生産性向上支援訓練に関する動画教材

生産性向上支援訓練に関する動画教材は、4つのコースにおいて基本項目の核となる内容に対して2若しくは3動画で構成されている。

第1の「ものづくりの仕事のしくみと生産性向上」コースは、①ものづくりの仕事の流れ、②ものづくりの基本用語③ものづくりに関する業務改善の3つの動画教材で構成されている。

第2の「生産現場の問題解決」コースは、④生産活動の基本、⑤生産現場の問題、⑥生産現場の改善の3つの動画教材で構成されている。

第3の「現場社員のための組織行動力向上」コースは、⑦企業経営の基本、⑧現場力向上と私たちの責務、⑨フォロワーシップの3つの動画教材で構成

されている。

第4の「成果を上げる業務改善」コースは、⑩業務を改善する目的と成果、⑪業務改善手法の2つの動画教材で構成されている。

このように、生産性向上支援訓練に関する動画教材は、4つのコースの構成で、合計11本の職業動画教材を制作した。

(3) eラーニング教材等を利活用した動画教材

eラーニング教材等を利活用した動画教材は、①ノギスを使いこなす！②マイクロメータを使いこなす！～外側編～③マイクロメータを使いこなす！～内側編～④マイクロメータを使いこなす！～デプス（深さ）編～⑤ダイヤルゲージを使いこなす！⑥シリンダゲージを使いこなす！⑦旋盤技術のスキルアップ講座！⑧三角関数から学ぶ超音波探傷の基礎講座、このように、eラーニング教材等を利活用した動画教材は、合計8本の職業動画教材を制作した。

以上、このように、トータル29本の職業動画教材を制作した。なお、職業動画教材の時間は、概ね10分程度となっている。

(4) KPIの設定と結果

配信チャンネル「ものトレTV」へ遷移させる広告のクリック数は15,000回以上の15,429回となり、KPIの指標15,000回（7,500回/月以上）を達成し、クリック率1.39%と配信実績から概ね順調に推移した。結果、「ものトレTV」の視聴回数は8,265回、総再生時間（時間）は289.5時間となった。

(5) その他の広報

インターネット広告以外にも、令和4年11月10日「技能の日」に合わせ、厚生労働省記者クラブへのプレスリリースを実施した。また、紙面での広報として、都道府県立職業能力開発校をはじめ、各都道府県主管課等、合計312の関係施設に11,000部のフライヤー、1,000部のポスターを配付した。

総括（まとめ）

本調査研究では、社会人等に対する職業教育の一環として、基礎的な内容を中心とする29本の職業動画教材を制作した。また、オンライン動画教材の配信を通じて広告運用の測定と対策について検討した。

「第4次産業革命に対応したものづくり（カテゴリⅠ）」は、第4次産業革命を啓蒙するための初歩的な内容とする動画群として、合計10動画制作した。また、「生産性向上支援訓練に関する職業動画教材（カテゴリⅡ）」は、令和2年度の実施結

果が好調な生産性向上支援訓練4コースを動画化し、合計11動画制作した。「eラーニング教材等を利活用した職業動画教材(カテゴリⅢ)」は、当機構の職業能力開発施設が既に制作した動画教材を再構成し、合計8動画の動画群として制作した。それぞれの動画群の再生回数は、令和5年1月10日から3月9日までの期間において、カテゴリⅠが3,849回、カテゴリⅡが564回、カテゴリⅢは3,832回となった。配信の効果を測定した2カ月間でのチャンネル視聴回数は8,245回であり、概ね期待したとおりの結果となった。図表32に示したように、累積の視聴回数の傾きは、概ね一定であり、令和4年度末日までには視聴回数10,000回を超えるものと予測できる。したがって、職業教育用動画の配信方法として既存の無償動画配信サービスを活用することは、十分に妥当であったといえる。

「第4次産業革命に対応したものづくり(カテゴリⅠ)」、「eラーニング教材等を利活用した職業動画教材(カテゴリⅢ)」は、双方とも3,800回を超えるの視聴回数となり、視聴者からの期待度はかなり高いものと考えられる。特に、「eラーニング教材等を利活用した職業動画教材(カテゴリⅢ)」は、他の動画群より少ない8動画を配信したが、「第4次産業革命に対応したものづくり(カテゴリⅠ)」と同等の視聴回数となっている。視聴者が、職業教育、職業能力開発において動画教材を活用することの有用性、有効性を認識していることの裏付けといえる。

「生産性向上支援訓練に関する職業教育用動画教材(カテゴリⅡ)」の視聴回数は少なかったが、動画制作スケジュールの都合から、配信が他の動画群より遅れてしまったことが原因と考えられる。

また、チャンネルの運用という観点から動画制作を見てみると、一般的に、多数に及ぶ動画を制作すると、完成したことで達成感が得られるため、チャンネル運用がおろそかになるケースが見受けられる。動画という成果物を制作し、配信することで終わりではなく、運用が始まるというところを再度認識する必要があると考える。29動画の職業動画教材を制作したことを踏まえ、この調査研究報告書が示唆しているところは、運用面の視点が重要となるということであろう。つまり、制作した財産を長期的に運用し、様々な方に見ていただくことを意識して情報発信する、動画構成や配信ターゲットを見直すなど、継続性を踏まえて職業動画教材の配信を検討することが必要であろうと考える。

今後、本調査研究の成果を利活用していただくことにより、運用の継続性という観点から情報発信のあり方や職業動画教材コンテンツの充実に向けた一助になることを期待する。また、チャンネルをさらに活用していただくための広告という視点からも、情報発信のあり方や配信する職業動画教材の充実に向けた検討を継続的に行う必要がある。